

令和6年度 第1回 沖縄県子ども・子育て会議 議事概要

1 開催日時

令和6年6月4日(火) 10:00~12:00

2 開催場所

沖縄県庁4階講堂

3 出席者

委員51名中40名出席

氏名	所属・役職
新崎 峰子	豊見城市立長嶺中学校 校長
安藤 美恵	沖縄県医師会会員
池原 基生	沖縄県私立幼稚園連合会副理事長
石川 修治	日本労働組合総連合会沖縄県連合会副事務局長
井村 弘子	沖縄国際大学名誉教授
上野 さやか	NPO法人おきなわCAPセンター 理事
岡野 みゆき	沖縄県労働者福祉基金協会 常務理事
狩俣 みつ穂	沖縄県母子寡婦福祉連合会 マザーズスクエアゆいはあと中部副責任者
喜屋武 裕江	一般社団法人グッジョブおきなわプロジェクト代表
金城 伸子	沖縄県立豊見城南高等学校 校長
国生 まゆみ	沖縄県自殺対策連絡協議会 委員 ※公認心理士協会推薦、現 SC
崎間 由香子	一般社団法人沖縄県経営者協会 女性リーダー部会副部会長
下地 敏洋	琉球大学 大学院 教育学研究科 教授(元学校長)
志良堂 貴子	社会福祉法人日本保育協会沖縄県支部副支部長
末広 尚希	沖縄県認可外保育園連絡協議会会長
平良 有輝	沖縄県労働者福祉基金 事務局長代理
高崎 美奈子	沖縄労働局職業安定部 部長
高良 正樹	沖縄県社会福祉協議会 事務局長
田端 一正	沖縄県社会教育委員会会長
玉城 直美	株式会社うなゐ沖縄 代表
照屋 建太	沖縄県キリスト教短期大学 地域子ども保育学科 学部長
徳永 義光	沖縄県医師会 理事
渡慶次 真由美	沖縄中部療育医療センター外来地域連携室主任
泊 真児	琉球大学 人文社会学部 人間社会学科 教授

西江 尚人	那覇保護観察所長
二宮 元	沖縄県学童保育連絡協会会長
比嘉 昌哉	沖縄国際大学 総合文化学部 人間福祉学科 教授
船谷 香	沖縄県中小企業家同友会 南部支部副幹事長
前川 英伸	沖縄県児童養護協議会 会員
真壁 朝文	沖縄労働局 職業安定部職業安定課 課長
松川 千賀子	一般公募
松本 大進	NPO法人サポートセンターゆめさき 理事長
松本 哲治	沖縄県市長会副会長(浦添市長)
松本 真子	沖縄県公立幼稚園・こども園会会員
銘苅 桂子	琉球大学病院周産母子センター 教授/沖縄県医師会 理事
本村 真	琉球大学 人文社会学部 人間社会学科 教授
山田 照子	Office teru sun 代表
山野 良一	沖縄大学 人文学部福祉文化学科 教授
横江 崇	弁護士(美ら島法律事務所)
与那嶺 清子	沖縄県母子寡婦福祉連合会 会長

(事務局)

こども未来部長、こども若者政策課

4 会議次第

1 委嘱状交付式

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 挨拶(玉城知事)

2 会議

- (1) 開会
- (2) 議事

ア 沖縄県子ども・子育て会議 会長の選任について

イ 沖縄県子ども・子育て会議 運営要領の制定について

ウ 沖縄県子ども・子育て会議 各部会の委員指名について

エ 沖縄県子ども計画(仮称)策定に向けた今年度の取組について

オ 沖縄県子ども計画(仮称)素案たたき台について

- (3) 報告

ア 子どもたちが参画する県子ども計画策定に向けた取組について

- (4) 閉会

5 配布資料

- ① 会議次第及び配布資料
- ② 座席表
- ③ 出席者名簿
- ④ 【資料 1】沖縄県子ども・子育て会議運営要領(案)
- ⑤ 【資料 2】沖縄県子ども・子育て会議 各部会委員(案)
- ⑥ 【資料 3】沖縄県子ども計画(仮称)策定に向けた今年度の取組
- ⑦ 【資料 4】沖縄県子ども計画(仮称)素案たたき台
- ⑧ 【資料 5】素案たたき台に対する意見等回答様式
- ⑨ 【資料 6】子どもたちが参画する県子ども計画策定に向けた取組について
- ⑩ 【参考資料 1】沖縄県子ども・子育て会議設置条例
- ⑪ 【参考資料 2】子ども大綱

6 議事要旨

■知事から委員へ委嘱状の手交

■知事あいさつ

[知事]

沖縄県子ども・子育て会議の初めての開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

これまで、こどもの貧困対策を県政の最重要課題に掲げて取り組んできた。また、黄金っ子応援プランに基づき、質の高い教育、保育の提供体制等の子ども・子育て施策を推進してきた。これまでの有識者会議にご参画いただいた委員の皆様には、貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。

今年度は、子ども施策にかかる連携体制を強化するため、子ども未来部を新設した。沖縄県子ども計画（仮称）策定を含む、幅広い子ども施策の推進に向けて、多種多様な分野からご参画いただき、子ども・子育て会議の新設置に至っている。

誰ひとり取り残さない、こどもまんなか社会の実現に向けて、こどもの貧困対策を含めた子ども施策をより一層推進してまいりたい。委員の皆様を活発な意見交換をお願い申し上げます。

（玉城知事退席）

[事務局] 会長が選任されるまでの間、事務局が進行を行った。

■本会議の公開について

本会議が公開会議である旨報告。

■資料確認

■定足数の報告

委員 51 人中 40 人出席。沖縄県子ども・子育て会議設置条例（以下「条例」）第 6 条第 2 項による定足数を満たしている旨報告。

■委員の紹介

■事務局の紹介

■子ども未来部長あいさつ

[子ども未来部長]

本日は、沖縄県子ども・子育て会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

子ども計画は、こどもの貧困対策、子育て支援や子ども若者育成支援など、幅広い子ども施策を一本化することとなっている。幅広い子ども施策を束ねた子ども計画により、施策全体を見える化し、こどもを取り巻く複雑な課題に対して、横断的に対応してまいりたいと考えている。子ども未来部としては、庁内や関係機関と連携を図りながら、子ども計画の策定に邁進していく。

これまでの有識者会議において、ご尽力いただいた委員に対し、お礼申し上げますとともに、新たにご参画いただく委員には、お力添えをいただきたい。

誰ひとり取り残さない、こどもまんなか社会の実現に向けて、活発な意見交換をお願い申し上げます。

議事

議事ア 沖縄県子ども・子育て会議 会長の選任について

〔事務局〕 条例第5条第1項にて、会長の推薦について提案。

〔玉城(直)委員〕

○ 琉球大学人文社会学部人間社会学科教授の本村真様をお願いしたい。

推薦理由として、社会福祉を専門とし、学術研究以外にスーパーバイズも実践されている。沖縄県子どもの貧困対策に関する有識者会議の座長も務められていたことから、多岐分野に渡ることも施策や全体を俯瞰してまとめていただけたらと思っている。

■委員の互選により、本村委員が会長に選任された。

〔本村会長〕

○ 委員それぞれの立場から貴重なご意見を賜りながら、議事を進めさせていただくので、ご協力をお願いしたい。

(その後、会長が議事を進行した)

議事イ 沖縄県子ども・子育て会議 運営要領の制定について

〔本村会長〕

○ 事務局からご説明願いたい。

〔事務局〕 【資料1】「沖縄県子ども・子育て会議運営要領(案)」について説明

〔本村会長〕

○ ご意見があればお願いしたい。ないようなので、事務局案承認ということで進める。

議事ウ 沖縄県子ども・子育て会議 各部会の委員指名について

〔本村会長〕

○ 事務局よりご説明願いたい。

〔事務局〕 【資料2】「沖縄県子ども・子育て会議 各部会委員(案)」について説明

〔本村会長〕

○ ただ今説明があった議事ウについて、ご意見等あれば伺いたい。

〔銘苅委員〕

○ 子ども・子育て部会の担当になっているが、子どもウェルビーイングセンターの設立に伴い、総合部会の担当にさせていただけないか。

[本村会長]

- 事務局の方、いかがか。

[事務局]

- 検討させていただく。

[本村会長]

- 銘苅委員から意見があった点以外については、事務局案を承認し、各部に属する委員を決定とする。次回会議からは、各部分に分かれ計画素案の審議を行っていただく。よろしく願いたい。

議事エ 沖縄県子ども計画(仮称)策定に向けた今年度の取組について

議事オ 沖縄県子ども計画(仮称)素案たたき台について

[本村会長]

- 議事 2 つについて、事務局よりご説明願いたい。

[事務局] 【資料 3】「沖縄県子ども計画(仮称)策定に向けた今年度の取組」

【資料 4】「沖縄県子ども計画(仮称)素案たたき台」 について説明

[本村会長]

- 何かご質問やご意見があれば願いたい。

[松本(大)委員]

- 市町村レベルで子ども家庭センターの設置が進んでいるが、県としての期待や課題等の基本的な方向性が子ども施策の中心にあれば、より議論の精度が高まるのではないかと。

また、予算の出所についての資料があれば、議論がしやすくなる。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- 子ども家庭センターの動きについては課題として捉え、市町村と連携してどのように進めていくかを計画の中に落とし込んでいく必要があると思っている。

素案たたき台は、今後、県から市町村の関係課へ説明会を開催して、考えを示していく。その中で、基礎自治体の役割等について意見交換しながら、良い子ども計画を策定していきたい。

また予算の出所等については、子ども計画で予定している第 7 章の個別施策集にて見える化を進める中で、どのように資料として提供できるかを検討する。

[本村会長]

- 他にご意見があれば願いたい。

[山野委員]

○ 1点目に、こども関係団体からの意見聴取するというのはすばらしいことだと思っているし、ここが今回のこども基本法からの流れとしても大事だと思っている。ただ、今回、どこにするのかが提示されておらず、気になっている。最も困難なこども達にどのようにして話を聞くのか、加えて困難な状況で子育てをしている保護者や当事者に近い関係団体からも聞いていただきたい。

2点目に、意見聴取とパブリックコメントの期間が離れており、パブリックコメントの期間も1か月半しかないことから、できるだけ早くいろいろな団体や一般の方たちや、当事者と近いところにいる市町村からも話を聞けるような工夫をお願いしたい。

[本村会長]

○ 事務局、いかがか。

[事務局]

○ 1点目のこどもの意見を聴く、関係団体からの意見聴取について、こどもに関しては、報告事項として資料6で取組の方向性をご説明する。保護者へのアプローチも工夫していきたい。関係団体については、委員の皆様所属団体としてのご意見を伺いたい。市町村の担当職員とも意見交換を考えている。市町村から県の動きについて問い合わせを頂いており、県の考える方向性や市町村との連携についてしっかり詰めていきたい。

[本村会長]

○ 他の委員の方々、いかがか。

[山田委員]

○ こどもの貧困対策という名称自体が、本当に困っているこども達が生きづらい環境を作り出しているのではないか。こども食堂なども、貧困の課題を抱えたこども達が行く場所というレッテル貼りをされることで、思いのある支援者がたくさんいて、そのような場所がたくさん開かれているにもかかわらず、利用者が減っているという現状もある。この名称とは違う何かで、すべてのこどもが自分らしく気負いすることなく育つ環境がつかれるように発信できると良い。また、このこども・子育て会議がその一端を担う集まりになってほしい。

[本村会長]

○ 事務局からお願いしたい。

[事務局]

○ 県では平成27年に調査をし、全国と比較してこどもの貧困率が2倍近いことから、こどもの貧困対策に力を入れて、2期計画にわたり取り組んできた。ご指摘のとおり、こどもの貧困対策というネーミング自体がどうなのかというご意見と、こども食堂は貧困の課題を抱えたこども達が行く場所といった意見も、一定程度保護者に根付いているのだろうと感じる。

この会議で、どのような方向性で今後こども達が生き生きと暮らしていける沖縄の社会をつくっていくかということに対し、忌憚ないご意見をいただきたい。

[本村会長]

- 他、いかがか。(複数挙手) 玉城(直)委員、松本(哲)委員、横江委員の順でお願いしたい。

[玉城(直)委員]

- 義務教育課程で外国につながる子ども達が進学できないという課題があり、実態を市町村を含めて数値で把握するのが大事と思っている。このような子ども達も、困難を抱える子どもの中に入れていただけないか。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- 小中で高校に行けない外国につながる子ども達の把握は、教育庁の関係課と連携して進めていきたい。

[本村会長]

- 続いて、松本(哲)委員。

[松本(哲)委員]

- 給食費無償化の政策は子ども計画のどこに位置づけられるのか。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- 資料4の第3章67ページ9行目に、沖縄県の施策として「子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校の給食費無償化に取り組む市町村を支援していく」と明記した。

国の子ども大綱では学校給食無償化の課題整理、具体的な方向性は示されていない。今後、担当部局より市町村向けに説明会を開催していく。

[松本(哲)委員]

- 財源の裏付け等も含めて、県庁内でしっかり理解し、子ども計画に取り組んだうえで給食費無償化を進めていくと決定したという理解でよいか。

[事務局]

- 中学校の給食費無償化に取り組む市町村への支援をしていくということで位置づけており、たたき台としてお示ししている。

[松本(哲)委員]

- 市町村を支援することに文句を言う人はいないと思うが、支援の仕方、フレームワーク、唐突さでよいか。県庁内でしっかり議論し、納得したうえでの発表という理解でよろしいか。

[事務局]

- 関係部局が集まり、スキームについて検討を進めていると認識している。今後、市町村に対する説明会でしっかり説明させていただきたい。

[松本(哲)委員]

- 説明の前に発表されてしまった。発表されてしまうと、市民から「当然浦添市でも無償化するんですよね」という話がある。県の方策として、給食費の半分を負担する市町村に支援するという内容だが、環境に左右されないと謳いながら、市町村間で環境が違うかたちを積極的につくっていくように見える。みなさんも、きちんと納得されての発表なのか。

[事務局:こども未来部長]

- 給食費無償化については、県庁として発表させていただいた。内容については、市町村との意見交換会にて、担当部局からしっかり説明していきたい。こども計画では、各部局の政策を盛り込んでいる。給食費無償化制度のスキームの議論は、市町村との意見交換会の中でやっていきたいと考えている。

[松本(哲)委員]

- 最後に。通常は説明をして、議論して、ここに書かれてあるように各市町村と連携したうえでの発表ではないのか。発表してから各市町村へ説明会を開くという順番はおかしいのではないかとということだけは、しっかり申し上げておく。

[本村会長]

- 横江委員、お願いしたい。

[横江委員]

- 県社会的養育推進計画とこども計画の関係を教えていただきたい。

[本村会長]

- 事務局、お願いしたい。

[事務局]

- 県社会的養育推進計画については、今年度改定計画に向けて、別途取り組んでいる。

[本村会長]

- こども計画と整合性を図りながら対応していくということかと思う。(挙手)比嘉委員、お願いしたい。

[比嘉委員]

- 資料4(2ページから3ページ)、基本理念1にあるこどもの人権尊重について、こどもが意見を表明し社会に参画する機会が確保されることに加えて、尊重されることがとても重要であり、受け止める側である社会、大人、我々の課題だと考えている。「個々のこどもをしっかり受け止める、大切にすること」を基本理念に追加で明記する必要がある。各自治体でのオンブズマン、そういうシステムの確立も必要であり、すべてのこどもが通う学校

で子どもたちの声をしっかり受けとめることが大事である。

〔本村会長〕

○ 事務局、いかがか。

〔事務局〕

○ 子ども達の意見表明を受け止めて、一緒に参画するといった、子ども達のエンパワーメントアプローチの取組を進めていきたい。沖縄国際大学に協力いただき、学生と意見表明、社会参画の取組をスタートさせたところである。どのように理念に反映させていくか検討してまいりたい。

〔本村会長〕

○ (挙手) 泊委員、お願いしたい。

〔泊委員〕

○ 資料4の2ページと67ページ(33行目から34行目)、子どもの人権尊重と、児童生徒の安全安心な活動拠点、人材育成確保の取組に関して、性暴力や性の多様性、ハラスメントに関する支援者への研修をしていくことが非常に重要だと感じている。具体的な取組について、現段階における考えや計画をお聞かせいただきたい。

〔本村会長〕

○ 事務局、いかがか。

〔事務局〕

○ 子どもの権利条約のもと、沖縄県においても子どもの権利尊重条例を策定し、取組を進めている。支援員の研修は、必要性をととても感じている。施策の中で検討していきたい。

ハラスメントやジェンダー平等の教育、性の多様性の尊重について県も取り組んでおり、子ども達への普及啓発、理解増進のみならず、支援する側、教職員に向けた研修の機会の充実も図っていきたい。

〔本村会長〕

○ 本会議は、先ほどスケジュール説明でもあったが、最終的にこの子ども計画を沖縄県として策定するというのが、委員の取り組むべき事項という点であるが、時間も限られているため、委員のご意見を書面にて提出いただければと思う。

〔事務局〕 【資料5】「素案たたき台に対する意見等回答様式」について説明

〔本村会長〕

○ 意見回答の全体確認、把握について、ご意見ご質問を伺いたい。

〔松本(大)委員〕

○ 各担当部局から回答いただく際に、どのような判断をされたのかについてもお示しいただきたい。施策の必要性や予算的な実行可能性を含めて回答いただくと納得しやすい。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- ご指摘いただいた件、お答えできるように整理してまいりたい。

[本村会長]

- (挙手)徳永委員。

[徳永委員]

- 資料 1 の 4 ページ目にある、審議事項の結婚・出産の中にある不妊症や出産に対する支援について、20 年以上相談事業等を行っている。保険診療になるなど、状況は変化しているが、実際には見直しが進まず、同じようなことを続けている。

既存の事業を見直さないと、予算が膨らむだけで、意見を聞いても実行できないことが多くなるため、沖縄県で既存事業の見直しをやっていただきたい。

[本村会長]

- 事務局からコメントをお願いしたい。

[事務局]

- 施策の方向性とそれに基づく各種事業の展開について、関係課と調整しながら取組を整理していきたい。

[本村会長]

- (挙手)末広委員。

[末広委員]

- 前回の会議(こども・子育て会議)にて、沖縄では、深刻な待機児童とその背景にある保育士不足の深刻さが指摘されているが、待機児童ゼロという格差のない保育環境の実現ができていない。まずは、黄金っ子応援プランで進められてきた計画を検証し、委員へフィードバックしてほしい。

また、これからの保育現場では、「こども誰でも通園制度」や、保育士の配置基準の変更に伴い、保育士不足のさらなる深刻化が危惧される。地域における共同保育の方針や、保育士の負担軽減と処遇改善に関する厚生労働省の方針も参考にして、沖縄県の格差なき保育環境の実現と、喫緊の課題である保育士不足の解消に取り組む必要があると考えている。

[本村会長]

- 事務局よりコメントをお願いしたい。

[事務局]

- 次回会議までに、これまでの検証を踏まえて、現状と課題を整理し、どのように施策に反映していくかについて、ご意見をいただきながら進めたい。

[本村会長]

○ これまでの施策の検証やスクラップビルドに関するご意見だったが、検証するにあたり、委員の皆様もデータがあれば、意見書と合わせてご提供いただきたい。まだ足りないこともあると思うが、資料 5 にてご意見いただければと思う。

審議事項に関して、ご了承いただくということで進めさせていただく。

[本村会長]

○ 議事エにいったん戻るが、沖縄県こども計画策定に向けた今年度の取組について、資料 3(14ページ)にて流れを確認させていただく。こどもをまんなかにして、国主導のもと、こども家庭庁の発足とともにこども大綱が動いている流れを、まずご理解いただきたい。

資料 3(3 ページから 4 ページ)、スケジュールについて、簡単な復習のあと、ご意見、ご質問をお受けしたい。
(会長よりスケジュールについてご説明の後、質疑応答を行った)

[山田委員]

○ 沖縄県は、学校の先生の休職率、離職率がとても高い。こども達を育てるうえで、教職員や支援者のケアもとても大事だと思っている。こども計画に、支援者ケアを組み込むことも検討していただきたい。

[本村会長]

○ 学校の先生を含めた支援者支援について、事務局からお願いしたい。

[事務局]

○ こども計画の中に先生方の支援やケアをどのように盛り込むか、庁内で検討していきたい。

[本村会長]

○ 議事エについて、ご意見いただいた点は反映する前提のもと、承認いただいたので、事務局案のとおり認めてよいか。(委員の承認を得る)

報告ア こどもたちが参画する県こども計画策定に向けた取組について

[本村会長]

○ 報告事項について、事務局からご説明願いたい。

[事務局] 【資料 6】「こどもたちが参画する県こども計画策定に向けた取組について」について説明

[本村会長]

○ ご報告に関して、ご意見、ご質問があれば伺いたい。

[上野委員]

○ 1 点目に、意見表明支援には意見形成支援という前のプロセスが非常に重要になってくるが、報告の中では見えなかったのが、意見形成支援も徹底していただきたい。

2 点目に、こども計画の中に、意見がどうなったかをこども達に返すプロセスも組み込んでいただきたい。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- 1点目の意見形成のプロセスについて、子ども達を支援している方々のご意見を聞きながら、資料6の取組を進めていきたい。

2点目の子ども達の意見のフィードバックについては、意見がどのように反映されたのかを今年度示していきたい。

[本村会長]

- (挙手)照屋(建)委員。

[照屋(建)委員]

- 資料6(3ページ)、未就学児には幼稚園の他、保育園や子ども園も対象に入っているという考えで大丈夫か。

[本村会長]

- 事務局、いかがか。

[事務局]

- 4、5歳児対象の施設に赴くことを検討しているが、今後、委員の所属しているところでお力添えいただけたら、保育所等を検討していきたい。

[本村会長]

- 専門の立場からご助言いただけると大変ありがたいと思う。松本(哲)委員。

[松本(哲)委員]

- みなさんにお詫びしたい。先ほど了承したが、やはり市町村代表として申し上げておきたい。資料4の67ページ、9行目が入ることに納得できない。9行目から10行目を削除するか、「子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、すべての市町村と連携協力し、支援していく」に変えていただきたい。中学校の給食費無償化に取り組まない市町村は支援できないとりかねない文言を残すのは許されないと思っている。

[本村会長]

- 真鳥部長、お願いしたい。

[事務局:子ども未来部長]

- こども計画については、各部局で行っているこども関連の施策を盛り込んでいる。各市町村代表としてのご意見を重く受け止めて、担当部局と調整させていただきたい。

〔松本(哲)委員〕

- ぜひともよろしく願いたい。趣旨には賛同している。みんなで力をあわせて頑張っていきましょう。

〔本村会長〕

- 以上で議事を終了する。

〔事務局〕

- 次回の会議は、10月下旬から11月上旬を予定している。新たに設置した、こども・子育て部会と、困難を抱えるこども部会の2つの部会にわかれて審議をしていく予定。後日、日程調整をさせていただきたい。

閉会